

月次改訂

2018 / 09

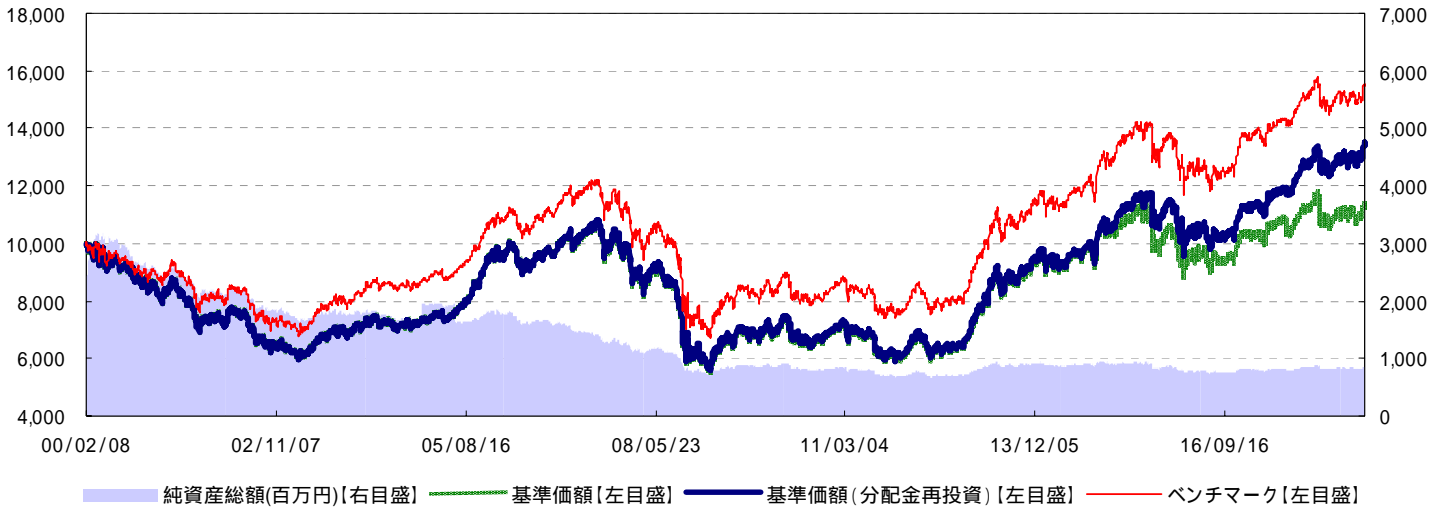
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

追加型投信/内外/資産複合

【お知らせ】当ファンドの約款変更の決定について(13ページ目をご覧ください。)

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)、ベンチマークは設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ベンチマークはNOMURA - BPI 総合インデックス27%、東証株価指数(TOPIX)40%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)5%、MSCI Kokusai Index(MSCI コクサイ インデックス)(円換算ベース)25%、無担保コール翌日物レート(短資協会発表)の平均値3%を合成したインデックスです。

ファンドの現況

	2018/09/28	前月末	前月末比
基準価額	11,340円	11,047円	+293円
純資産総額(百万円)	848	826	+21

	基準価額	日付
設定来高値	11,813円	2018/01/23
設定来安値	5,543円	2009/03/10

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.65%	4.90%	7.46%	9.94%	27.15%	34.71%
ベンチマーク	2.53%	3.98%	5.74%	6.28%	21.90%	55.40%
差	0.12%	0.92%	1.72%	3.66%	5.25%	-20.69%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

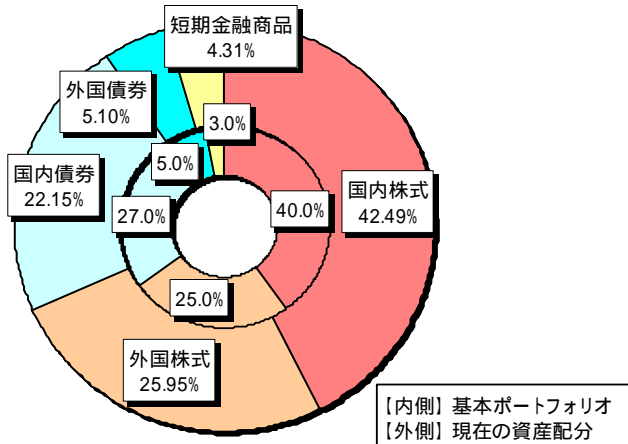
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2018/08/07	2018/02/07	2017/08/07	2017/02/07	2016/08/08	2016/02/08	
分配金	150円	350円	350円	100円	0円	0円	1,850円

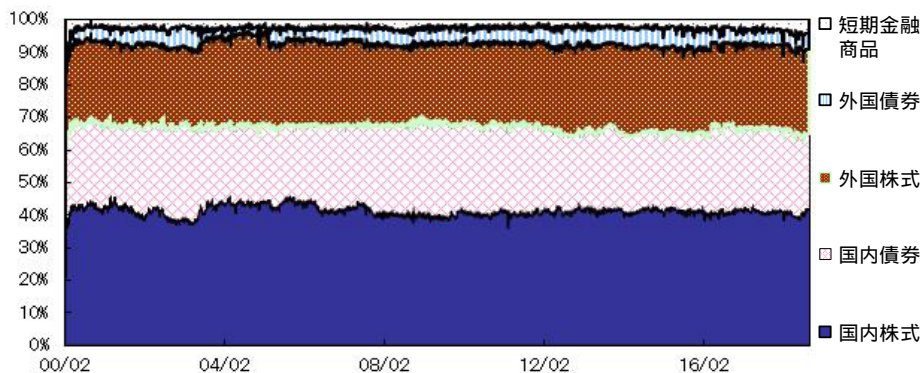
・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

実質組入比率



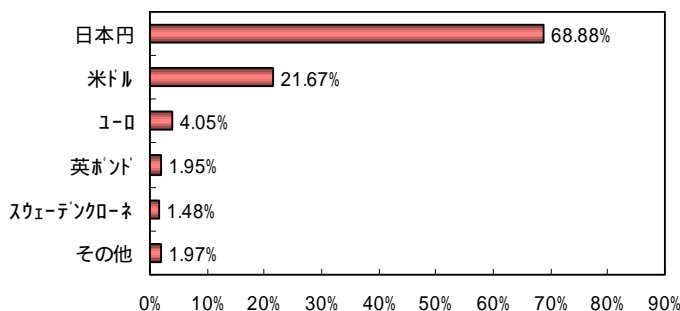
・比率は純資産総額に対する割合です。
・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

資産別組入比率推移



・比率は純資産総額に対する割合です。

通貨配分



・比率は[外貨建て純資産 - 為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

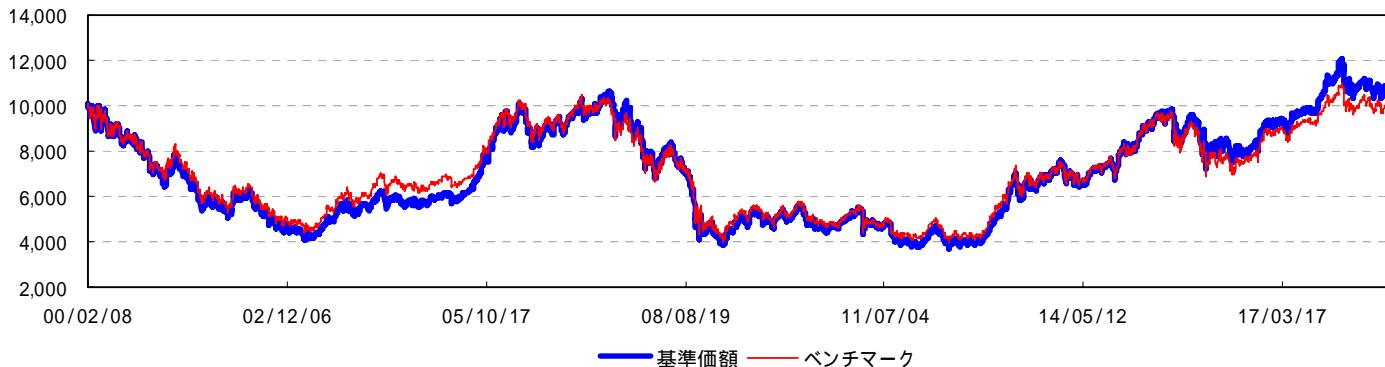
後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

国内株式マザーファンド

運用状況等

基準価額の推移



・基準価額、ベンチマークはベビーファンドの設定日前営業日を10,000として指数化しています。

ベンチマークは東証株価指数(TOPIX)です。
 東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	5.26%	6.64%	6.05%	10.26%	35.31%	13.15%
ベンチマーク	4.72%	4.99%	5.88%	8.51%	28.78%	3.56%
差	0.54%	1.66%	0.17%	1.75%	6.54%	9.59%

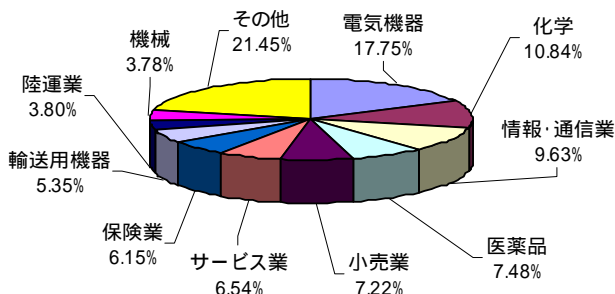
・設定来(各期間の騰落率)はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

運用資産構成

	2018/09/28	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	98.29%	97.58%	0.71%
内 現物	98.29%	97.58%	0.71%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%
短期金融資産	1.71%	2.42%	-0.71%

・比率は純資産総額に対する割合です。

組入上位10業種



・比率は現物株式評価額に対する割合です。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
 基準価額および分配金は1万口当たりです。

組入上位15銘柄

(組入銘柄数: 68 銘柄)

順位	銘柄	業種	比率
1	日本電産	電気機器	3.04%
2	TDK	電気機器	2.81%
3	ソニー	電気機器	2.72%
4	第一生命ホールディングス	保険業	2.69%
5	ソニーフィナンシャルホールディングス	保険業	2.59%
6	任天堂	その他製品	2.45%
7	ユニ・チャーム	化学	2.39%
8	村田製作所	電気機器	2.30%
9	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.27%
10	大塚ホールディングス	医薬品	2.26%
11	ヤマハ発動機	輸送用機器	2.17%
12	ケーズホールディングス	小売業	2.11%
13	日本電信電話	情報・通信業	2.10%
14	丸紅	卸売業	2.04%
15	スズキ	輸送用機器	2.01%

・比率は純資産総額に対する割合です。

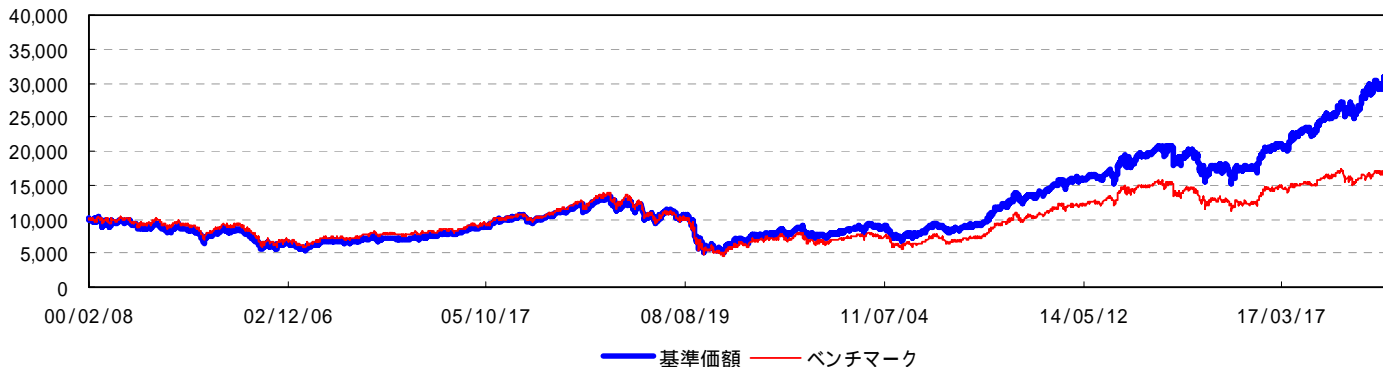
後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

世界株式マザーファンド

運用状況等

基準価額の推移



・基準価額、ベンチマークはベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

ベンチマークはMSCI Kokusai Index (MSCI コクサイ インデックス) (円換算ベース)です。
 MSCI Kokusai Index (MSCI コクサイ インデックス)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。
 MSCI Kokusai Index (MSCI コクサイ インデックス) (円換算ベース)は、MSCI Kokusai Index (MSCI コクサイ インデックス) (米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。
 また、MSCI Kokusai Index (MSCI コクサイ インデックス)に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.98%	9.85%	22.51%	29.76%	75.28%	213.79%
ベンチマーク	2.46%	8.45%	13.92%	10.91%	34.12%	75.47%
差	-0.48%	1.40%	8.58%	18.85%	41.17%	138.32%

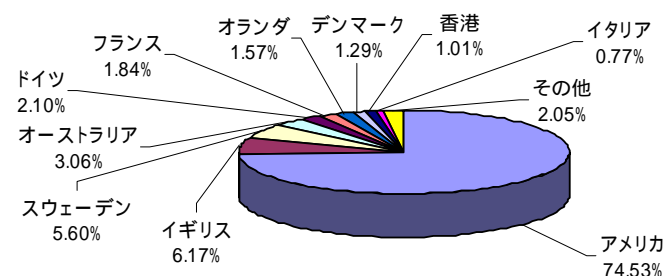
・設定来(各期間の騰落率)はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

運用資産構成

	2018/09/28	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	98.82%	96.89%	1.93%
内 現物	98.82%	96.89%	1.93%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%
短期金融資産	1.18%	3.11%	-1.93%

・比率は純資産総額に対する割合です。
 ・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

組入上位10カ国



・比率は現物株式評価額に対する割合です。
 ・国名は投資対象銘柄の主要取引所国を表しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

世界株式マザーファンド

組入上位10業種

	業種	比率
1	ソフトウェア・サービス	19.03%
2	小売	13.35%
3	資本財	12.20%
4	各種金融	10.23%
5	医薬品・バイオテクノ・ライフ	9.39%
6	ヘルスケア機器・サービス	6.79%
7	銀行	4.43%
8	素材	3.76%
9	商業・専門サービス	3.47%
10	エネルギー	3.11%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

組入上位15銘柄

(組入銘柄数: 121 銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	AMAZON.COM INC	アメリカ	小売	5.21%
2	NETFLIX INC	アメリカ	小売	2.73%
3	ILLUMINA INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.68%
4	MASTERCARD INC - A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.63%
5	FIRST REPUBLIC BANK / CA	アメリカ	銀行	2.32%
6	ABIOMED INC	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	1.94%
7	GRUBHUB INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.93%
8	EOG RESOURCES INC	アメリカ	エネルギー	1.87%
9	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.80%
10	ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	1.72%
11	FACEBOOK INC-A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.71%
12	TD AMERITRADE HOLDING CORP	アメリカ	各種金融	1.69%
13	WAYFAIR INC- CLASS A	アメリカ	小売	1.56%
14	NOVOCURE LTD	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	1.50%
15	TABLEAU SOFTWARE INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.45%

・比率は純資産総額に対する割合です。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

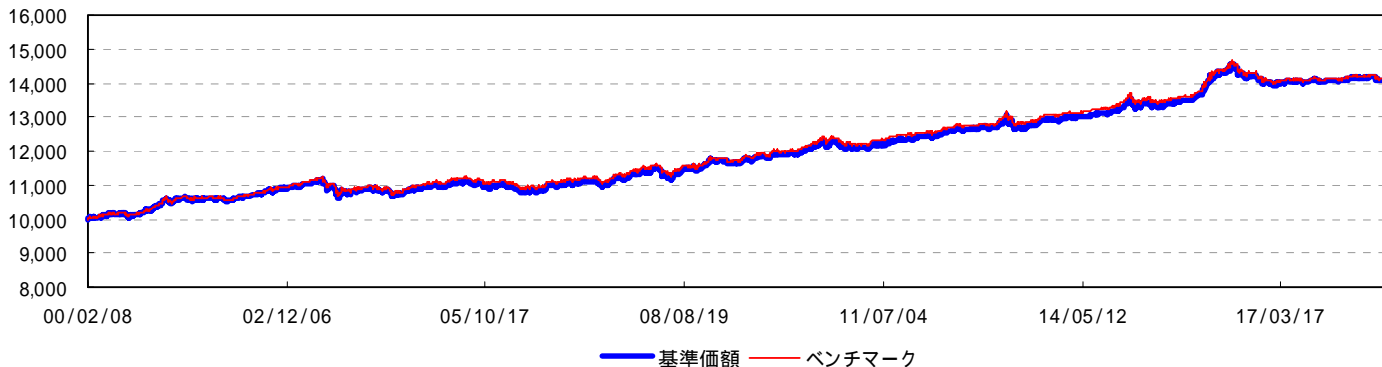
後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

国内債券マザーファンド

運用状況等

基準価額の推移



・基準価額、ベンチマークはベビーファンドの設定日前営業日を10,000として指数化しています。

ベンチマークはNOMURA - BPI 総合インデックスです。
 NOMURA - BPI総合インデックスとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA - BPI総合インデックスは野村證券株式会社の知的財産であり、当ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.23%	-0.93%	-0.71%	-0.04%	4.42%	40.25%
ベンチマーク	-0.24%	-0.96%	-0.77%	-0.07%	3.76%	40.44%
差	0.01%	0.03%	0.06%	0.03%	0.66%	-0.19%

・設定来(各期間の騰落率)はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

運用資産構成

	2018/09/28	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	98.97%	96.45%	2.52%
内 現物	98.97%	96.45%	2.52%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%
短期金融資産	1.03%	3.55%	-2.52%

・比率は純資産総額に対する割合です。

利回り・デュレーション・平均残存期間

最終利回り	0.19%	デュレーション	8.45年
直接利回り	0.48%	平均残存年数	9.08年

- ・数値は、債券現物部分について計算しています。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。
- ・平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。
- ・変動利付債の残存年数は、次回利払日までとして計算しています。
- ・MBSの残存年数は、満期償還日をもとに計算しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

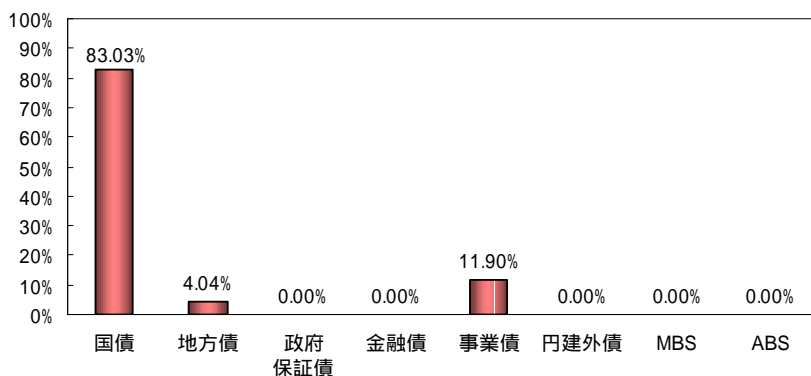
国内債券マザーファンド

債券の格付分布

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	0.00%	0
AA格	0.00%	0
A格	98.97%	35
BBB格	0.00%	0
BB格以下	0.00%	0
無格付	0.00%	0

・比率は純資産総額に対する割合です。
 ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 ・AA格(AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 ・A格(A+, A, A-, A1, A2, A3)
 ・BBB格(BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 ・BB格(BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
 ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付(国の発行体格付)を採用しているものがあります。
 ・また日本の金融債については発行体格付を採用しています。
 ・格付分布はR&I社、JCR社、S&P社、Moody's社のうち最も低い格付を表示しています。

種類別組入比率



・比率は純資産総額に対する割合です。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 35銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第389回利付国債(2年)	国債	0.100%	2020/06/01	18.07%
2	第388回利付国債(2年)	国債	0.100%	2020/05/15	9.72%
3	第126回利付国債(5年)	国債	0.100%	2020/12/20	6.88%
4	第153回利付国債(20年)	国債	1.300%	2035/06/20	5.51%
5	第128回利付国債(5年)	国債	0.100%	2021/06/20	5.23%
6	第164回利付国債(20年)	国債	0.500%	2038/03/20	4.21%
7	第92回都市再生債券(財投機関債)	事業債	0.694%	2024/06/20	4.05%
8	第61回地方公共団体金融機構債券(財投機)	地方債	0.690%	2024/06/28	4.04%
9	第85回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債	事業債	0.080%	2021/03/19	3.93%
10	第38回西日本高速道路	事業債	0.090%	2022/09/20	3.92%

・比率は純資産総額に対する割合です。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
 基準価額および分配金は1万口当たりです。

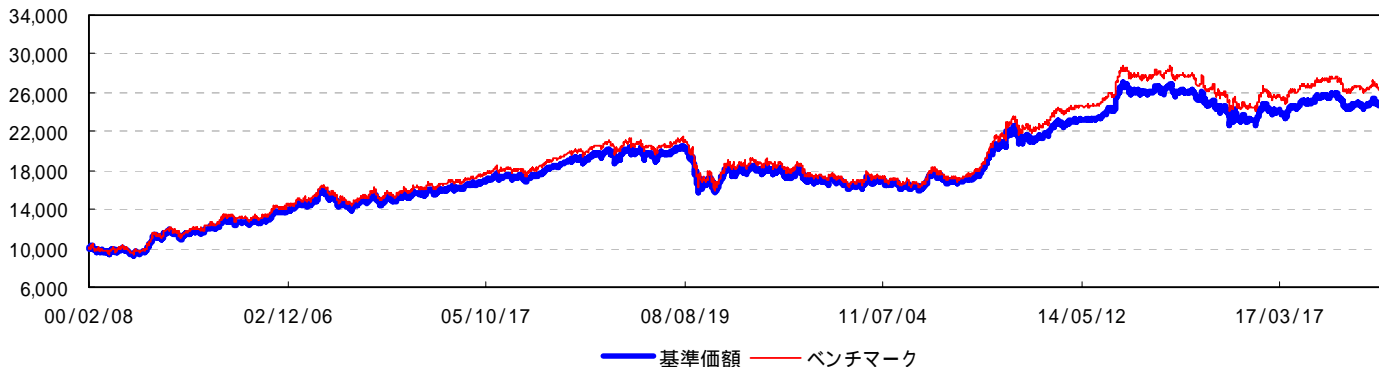
後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

世界債券マザーファンド

運用状況等

基準価額の推移



・基準価額、ベンチマークはベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

ベンチマークはFTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)です。
 FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
 FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)とは、FTSE世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.30%	2.28%	2.75%	-0.87%	-2.93%	153.21%
ベンチマーク	1.88%	2.53%	2.58%	-0.48%	-1.95%	171.16%
差	-0.58%	-0.25%	0.16%	-0.39%	-0.97%	-17.95%

・設定来(各期間の騰落率)はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

運用資産構成

	2018/09/28	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	98.17%	96.44%	1.74%
内 現物	98.17%	96.44%	1.74%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%
短期金融資産	1.83%	3.56%	-1.74%

・比率は純資産総額に対する割合です。

利回り・デュレーション・平均残存期間

最終利回り	1.83%	デュレーション	6.63年
直接利回り	2.48%	平均残存年数	7.82年

- ・数値は、債券現物部分について計算しています。
- ・最終利回りは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

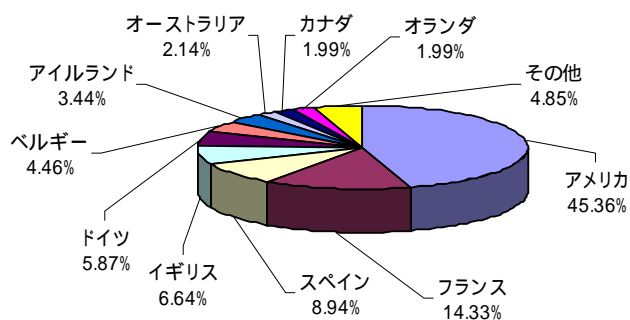
世界債券マザーファンド

債券の格付分布

格付種類	比率	銘柄数
AAA格	13.42%	12
AA格	70.72%	20
A格	5.26%	5
BBB格	8.77%	3
BB格以下	0.00%	0
無格付	0.00%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AA格(AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 - ・A格(A+, A, A-, A1, A2, A3)
 - ・BBB格(BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - ・BB格(BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付(国の発行体格付)を採用しているものがあります。
- ・格付分布はR&I社、JCR社、S&P社、Moody's社のうち最も低い格付を表示しています。

組入上位10カ国



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 40 銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1	1.875 T-NOTE 200630	国債	1.875%	2020/06/30	アメリカ	10.79%
2	1.75 T-NOTE 230131	国債	1.750%	2023/01/31	アメリカ	9.14%
3	3.625 T-NOTE 210215	国債	3.625%	2021/02/15	アメリカ	6.69%
4	3.75 O.A.T 210425	国債	3.750%	2021/04/25	フランス	5.86%
5	2.125 T-NOTE 250515	国債	2.125%	2025/05/15	アメリカ	5.84%
6	0.5 O.A.T 250525	国債	0.500%	2025/05/25	フランス	4.93%
7	4.375 T-BOND 380215	国債	4.375%	2038/02/15	アメリカ	4.91%
8	2.375 T-NOTE 240815	国債	2.375%	2024/08/15	アメリカ	3.79%
9	1.5 SPAIN GOVT 270430	国債	1.500%	2027/04/30	スペイン	3.44%
10	2.75 T-BOND 420815	国債	2.750%	2042/08/15	アメリカ	3.06%

・比率は純資産総額に対する割合です。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド (安定型/安定成長型/成長型/積極型)

運用担当者コメント

市況動向

【内外株式は上昇、国内の債券利回りはほぼ横ばい、海外先進国の債券利回りはイタリアを除き概ね上昇】

< 国内株式市況 >

国内株式市況は、世界的な株価の上昇や円安米ドル高の進行などから上昇しました。

< 海外先進国株式市況 >

海外先進国株式市況は、米国の良好な経済指標や米中貿易摩擦に対する懸念後退への期待などから上昇しました。

< 国内債券市況 >

国内債券の利回りは、日銀のイールドカーブコントロール政策が意識されたことなどからほぼ横ばいとなりました。

< 海外先進国債券市況 >

海外先進国の債券利回りは、米国では良好な米経済指標などを背景に上昇しました。欧州では、イタリア政府の財政運営に対する警戒感が和らいだことなどからイタリアでは低下したものの、その他の欧州諸国は概ね上昇しました。

< 為替 >

為替市場では、米ドル、ユーロともに円に対して上昇しました。米ドルは、米中貿易摩擦に対する懸念後退への期待などから円に対して上昇しました。ユーロはイタリア政府の財政運営に対する警戒感が和らいだことなどから円に対して上昇しました。

運用状況

【基準価額は上昇】

(1) 今月の運用成果とその要因

基準価額は、主に国内株式マザーファンドが上昇したことなどを受け上昇しました。基準価額騰落率は、全てのファンドでベンチマークを上回りました。これは主に個別資産効果で国内株式マザーファンドなどがベンチマークを上回ったことによるものです。

(2) 今月の資産配分

基本資産配分に対して、国内債券を弱め、国内株式、外国株式を強め、外国債券を中立とした資産配分としておりました。

本ページのコメントは、三菱UFJ信託銀行株式会社の資料をもとに作成しております。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。

また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド (安定型/安定成長型/成長型/積極型)

運用担当者コメント

今後の運用方針

【国内債券を弱め、国内株式、外国株式、外国債券を中立とする資産配分】

米国経済は、税制改革などから雇用や賃金の改善が継続し、内需の堅調さは持続すると考えます。一方で、米国の保護主義的な通商政策による貿易面での悪影響や企業マインドの変化などはリスク要因と考え注視して参ります。

欧州経済は、雇用環境の改善による底堅い内需などが景気を下支えすると考えます。緩和的な金融政策からの転換や、対米貿易に関する不透明感などから景気拡大ペースは緩やかとなる想定です。

国内経済は、震災や天候要因などにより生産の一時的な落ち込みを見込みますが、堅調な設備投資や輸出などを背景に景気回復基調が継続すると考えます。

このような環境のなか、各資産間の相対的魅力度を比較検討した結果、国内債券を弱め、国内株式、外国株式、外国債券を中立とする資産配分とします。

10月の資産配分計画

	安定型	安定成長型	成長型	積極型
国内株式	20.0%	30.0%	35.0%	40.0%
国内債券	56.0%	41.0%	31.0%	26.0%
外国株式	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%
外国債券	10.0%	10.0%	10.0%	5.0%
現金等	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%

参考：基本資産配分

	安定型	安定成長型	成長型	積極型
国内株式	20.0%	30.0%	35.0%	40.0%
国内債券	57.0%	42.0%	32.0%	27.0%
外国株式	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%
外国債券	10.0%	10.0%	10.0%	5.0%
現金等	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%

本ページのコメントは、三菱UFJ信託銀行株式会社の資料をもとに作成しております。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド (安定型/安定成長型/成長型/積極型)

運用担当者コメント

国内株式(マザーファンド)

1.市況見通し【堅調な展開を予想】

経済環境は引き続き堅調な状況にあると見ています。一方、米中の貿易摩擦問題については、引き続き警戒が必要と見ています。また、米国の金融政策により株価の変動が一時的に高まる場面も考えられます。

2.今後の運用方針【ファンド償還に向けた対応を進める方針】

2018年11月6日のファンド償還に向けて、保有銘柄の売却を進めて行く方針です。

世界株式(マザーファンド)

1.市況見通し【米国は金融政策の動向を見極める展開、欧州は金融緩和からの出口戦略を見極める展開を予想】

米国株式市況は、金融政策の動向を見極める展開を予想します。法人税率の引き下げを柱とする大型減税が、米国経済の成長の下支えとなる見通しです。欧州株式市況は、英国の欧州連合(EU)離脱がユーロ圏に悪影響を及ぼすリスクなどが不安材料となる一方、政治的リスクの後退などにより投資環境は好転するものと見ています。また、金融緩和からの出口戦略の動向が市場の変動要因となるとみています。

2.今後の運用方針【ファンド償還に向けた対応を進める方針】

2018年11月6日のファンド償還に向けて、保有銘柄の売却を進めて行く方針です。

国内債券(マザーファンド)

1.市況見通し【国内長期金利は上昇余地を探る展開を予想】

7月末に日銀が長期金利の変動幅の拡大を容認する等、足下で日銀による国債買入れオペの運営に対する不透明感が広がっています。そのような環境下、国内長期金利は、日銀による国債買入れオペの運営などを巡り、当面は上昇余地を探る展開を予想します。

2.今後の運用方針【ファンド償還に向けた対応を進める方針】

2018年11月6日のファンド償還に向けて、保有銘柄の売却等を進めて行く方針です。

世界債券(マザーファンド)

1.市況見通し【欧米長期金利、ユーロ/米ドル相場は米国の保護主義的な貿易政策の動向等から影響を受ける展開を予想】

米国長期金利は、米国経済が堅調に推移する中、米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げの継続等が金利の上昇要因になると考える一方、米国の保護主義的な貿易政策に対する懸念等が金利の低下要因になると考えます。欧州長期金利とユーロ/米ドル相場は、米国の保護主義的な貿易政策の動向等から影響を受ける展開を予想します。

2.今後の運用方針【ファンド償還に向けた対応を進める方針】

2018年11月6日のファンド償還に向けて、保有銘柄の売却等を進めて行く方針です。

本ページのコメントは、三菱UFJ信託銀行株式会社の資料をもとに作成しております。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。

また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

追加的記載事項

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定型)、三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定成長型)、三菱UFJ ライフ・バランスファンド(成長型)、三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)の投資の対象とするマザーファンドの入替えに関するお知らせ

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定型)、三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定成長型)、三菱UFJ ライフ・バランスファンド(成長型)、三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)が投資の対象とする「国内債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「世界債券マザーファンド」、「世界株式マザーファンド」は、残高些少により運用が困難な状況になりつつあり、投資の対象とするマザーファンドを「三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド」に入替えることが受益者の皆さまにとって有利であると認められるため、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき2018年5月8日現在の受益者の皆さま(2018年5月2日までに、購入のお申込みをされた方が対象となります。)に、2018年7月18日付けで投資の対象とするマザーファンドを入替えることについての異議申立の手続きを2018年5月8日から2018年6月18日まで行いました。

本件ファンドの異議申立口数を集計しました結果、異議を申立てられた受益者さまの受益権口数が、2018年5月8日時点の本件ファンドの受益権総口数の2分の1以下となりましたので、当初予定どおり本約款変更を実施させていただきます。

「三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド」は、2018年7月18日に投資の対象とするマザーファンドに追加される予定です。

「国内債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「世界債券マザーファンド」、「世界株式マザーファンド」は、2018年11月7日に投資の対象とするマザーファンドから削除される予定です。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

国内債券、国内株式、外国債券および外国株式を実質的な主要投資対象とし、それぞれの基本ポートフォリオに沿った資産配分を行うことにより、長期的に安定した収益の獲得をめざします。

ファンドの特色

特色1 内外の主要金融資産に分散投資を行います。

また、ポートフォリオの資産配分比率は、原則一定を維持します。

・国内債券、国内株式、外国債券および外国株式への分散投資により、リスクの低減を図り、長期的に安定した収益の獲得をめざします。
 ファンドの実質的な運用は、「国内債券マザーファンド¹」、「三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド²」、「国内株式マザーファンド¹」、「三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド²」、「世界債券マザーファンド¹」、「三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド²」、「世界株式マザーファンド¹」、「三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド²」を通じて行います。

- 1 「国内債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「世界債券マザーファンド」、「世界株式マザーファンド」は、2018年11月7日に投資の対象とするマザーファンドから削除される予定です。
- 2 「三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド」は、2018年7月18日に投資の対象とするマザーファンドの入替えのため、追加される予定です。

特色2 ライフプランにあわせて4つのファンドからご選択いただけます。

4つのファンドから資金性格、投資目的等に応じた選択が可能です。

- 三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定型)
- 三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定成長型)
- 三菱UFJ ライフ・バランスファンド(成長型)
- 三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

・「積極型」は、国内債券27%、国内株式40%、外国債券5%、外国株式25%および短期金融商品3%の比率で配分した基本ポートフォリオとします。
 ・実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

特色3 各ファンドは無手数料でスイッチング(乗換)が可能です。

ただし、スイッチングの際は、換金するファンドに対して税金がかかります。

特色4 国内債券、国内株式、外国債券および外国株式に投資するそれぞれのマザーファンドを設定し、その運用にはベンチマークを定め、アクティブ運用により、これを上回る収益を追求します。

・個別資産毎におけるアクティブ運用を行い、委託会社が独自に指数化する合成インデックスをベンチマークとして超過収益を積み上げることを図ります。

特色5 各ペーパーファンドでの資産配分および各マザーファンドのポートフォリオ構築 にあたりましては、三菱UFJ信託銀行株式会社からの投資助言を受けます。

2018年7月18日に追加される予定の「三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド」は、投資助言は受けません。

ファンドの仕組み

・運用は主に各マザーファンドへの投資を通じて、内外の株式・債券へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

分配方針

- ・年2回の決算時(2・8月の各7日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式や組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ・収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のペビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位(ただし、1万口を上回らないものとします。) / 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	無期限(2000年2月8日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年2・8月の7日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

手続・手数料等

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限2.16%(税抜2%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定型)
日々の純資産総額に対して、**年率1.404%(税抜 年率1.3%)**をかけた額

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定成長型)
日々の純資産総額に対して、**年率1.512%(税抜 年率1.4%)**をかけた額

運用管理費用
(信託報酬)

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(成長型)
日々の純資産総額に対して、**年率1.62%(税抜 年率1.5%)**をかけた額

三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)
日々の純資産総額に対して、**年率1.728%(税抜 年率1.6%)**をかけた額

その他の費用・
手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufig.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120 - 151034

(受付時間 営業日の9:00 ~ 17:00)

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

ファンド名称: 三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)

商号	登録番号等		日本証券業 協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社 鹿児島銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第2号				
九州FG証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第18号				
株式会社 第四銀行(*)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号				
株式会社 山形銀行(*)	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号				

商号欄に(*)の表示がある場合、新規申込のお取扱いを中止しております。